

中酪情報 No.602

2022年11月30日発行
毎号奇数月末発行

発行：一般社団法人 中央酪農会議
編集・発行人：寺田 繁
〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町2-6-1
TEL:03-6688-9841 FAX:03-6681-5295

ご意見・ご感想をお寄せください。

読者の皆さまにもっと本誌をご活用いただきたく、より良い誌面作りに向けて努力してまいります。本誌へのご意見やご要望、ご感想がございましたら、電話・FAX・ホームページにて下記の「中酪情報」編集部までお寄せください。皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。

宛先及びお問合せ先

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町2-6-1
一般社団法人 中央酪農会議「中酪情報」編集部
TEL:03-6688-9841 FAX:03-6681-5295
<http://www.dairy.co.jp/>
(中酪HP「お問い合わせ」ページよりアクセスできます)

編 集 後 記

ワールド・デーリー・サミット2022における食料政策・規制に関するパネル討論では、「今日的な課題は、政策立案者や酪農乳業がどうやって環境負荷を減らすのかということだ。同時に、社会の需要も満たす必要がある。酪農乳業には、環境の負荷を減らしながら、生産量・生産効率を向上していくことが求められている（FAO）。」とし、各国政府代表者より温室効果ガス排出ゼロにむけた意思表示や状況説明等がなされました。

世界の現状は、温室効果ガスの排出量を削減するための軌道を逸脱しており、現在の状況が続けば、気温上昇に歯止めがかからず、異常気象の頻発化、激甚化、不規則化による「食料システムの混乱」が世界的規模で発生すると言われていています。そのため、世界の酪農乳業者は、将来の世代のため、環境に配慮することを日ごろから心掛けることが求められています。併せて、今日から何をなすべきかを議論の俎上にのせ、持続可能な食料システムへの転換に向けた最初の第一歩として、消費者が牛乳乳製品を選択する際に環境保全を重視することの必要性が強調されています。